

イエス、洗礼を受ける マタ3:13~17、ルカ3:21~22

9.その頃、イエスはガリラヤのナザレから来て、ヨルダン川でヨハネから洗礼を受けられた。10.水の中から上がるとすぐ、天が裂けて、霊が鳩のようにご自分に降って来るのを、ご覧になった。11.すると、あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という声が、天から聞えた。

- ① ガリラヤのナザレ ナザレ人イエス
- ② イエス、ヨハネから洗礼 ベプテスマ を受ける
- ③、天が裂けて、聖霊が降ってくる イエスに
- ④、あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者
- ①、ガリラヤのナザレ

初めに、前回イエスの母マリアとヨハネの母エリザベトが従妹だったと言いましたのは私の間違いで、親類だっただけです。ですが小説「聖書」でウォルター・ワンゲリンはイエスとヨハネが従兄弟であったと書いています。なんとも幻想的でしょう。さて天使ガブリエルから「聖霊による妊娠」を告げられたマリアが、自分より6ヶ月早い妊娠が起こったエリザベト ルカ1:36~45 への妊娠も神の介入があるのですが ルカ1:5~20 を訪問した ルカ1:36~45 事の記載を見ると、イエスとヨハネが親類であり、二人は胎児の時から知り合っていた、と想像されます。ワンゲリンの影響で、これも幻想的です。このようにイエスとヨハネが同時代人であったという事実は、大変大切であると思われる。私たちも、生きておられる神の子イエス様と同時代に生きているという証し、自覚を持つ事が重要なのです。つまりイエスは生きておられるという信仰が必要なのです。何故なら、私たちにとつても、力、私たちが動こうとする原動力はキリストにあるからです。そのことは聖霊の所で触れます。さてイエスさまは30歳まで、ガリラヤのナザレで、鳴かず飛ばずというのでしょいか、ひっそりと成長されます。勿論、母マリアとのふれあい、大工である父ヨセフの職業訓練、兄弟姉妹に対して長男として世話されたことなどが想像できますが、マルコは他の福音書記者のように、系図や、誕生、子ども時代の事に一切触れず、イエスの話をガリラヤのナザレでの宣教開始から、つまり公生涯を始められたことから始めます。ナザレから出発して、イエスの宣教が始まるのです。マルコにはイエスの伝記を書くつもりは毛頭ありません。では

ガリラヤのナザレはどのような処でしょうか。当時でも、ユダヤではガリラヤは文化果てる所、片田舎、辺境の地と広く認識されておりました。後に12弟子の一人になるフィリポがイエスをナタナエルに紹介しようとして次のように言った時、私たちは、モーセが律法に記し、預言者たちも書いている方に出会った。ナザレの人で、ヨセフの子イエスだ。ナタナエルは次のように答えました。ナザレから何か良いものが出るだろうか。そういった彼も、イエスと問答をするうち あなたは神の子」と答えて弟子になるのですが、ヨハネ福音書1:43~51、ナザレという地名は、ユダヤ人にはそのような認識しかなかった。しかし辺境の地ガリラヤはイエスが宣教を始められた地であ

り、故郷に容れられぬ預言者を実感させられた ヨハネ福音書：4・16〜30) 地であり、学識のない同志たち(弟子達、大部分の故郷であり、イエスが山上の説教を述べられた地でした。しかし故郷の人は、兄弟すらイエスを理解せず ヨハネ福音書7：33〜8)、エルサレムで処刑されるまで、故郷を失ったイエスは、病人を癒し、福音を宣教しながら諸国を放浪されるのです。真の故郷である「神の国」を指差しながら。

## ②、ヨハネから洗礼 バプテスマ を受ける

バプテスマのヨハネのよい評判を聞いておられたのか ガリラヤからも沢山の人が、バプテスマのヨハネの許に行ったという記事が前回の所に見えます(、宣教を始めようとする最初に、イエスはエルサレムに上って行かれるのではなく、ヨルダンの低い所、ヨルダンのほとり、ヨハネのところに洗礼を受けに行かれます。それは決意の時でした。

A、罪の赦しを得させる洗礼を受けさせて欲しいとヨハネにたのまれます。

B ヨハネのような かがんで自分の靴の紐を解く値打ちもない」者から洗礼を受ける。

何故でしょう。昔これを読んだ時、神の子がどうして?」と疑問を持ちました。何故、神の子が自分の威厳を損なうような仕方では洗礼を受けねばならぬのか。彼は罪なきお方であったにも拘らず、罪を悔いてバプテスマを受けようとする群集の中に加わりました。彼はヨハネよりはるかに優れた方であるにも拘らず、ヨハネの手でバプテスマをお受けになりました。キリストのへりくだりは、宣教の出發の時から何時も変わらないのです。イエスが受け給うバプテスマの時から、ヨルダン川に浸される時から、彼の十字架まで、へりくだりは続くのです。彼の決意は、父なる神への従順から来ているのですから。

そして勿論ヨハネは、私こそあなたから洗礼を受けるべきなのに・・・」と一旦は拒否します。私たちが考えても、それが本当だと思える仕方です。しかし主イエスは 今は、とめないで欲しい。正しい事をすべて行うのは、我々にふさわしい」(マタイ福音書3：15) と言って受洗を強行されるのです。私たちの理性や合理性ではこの正しさは分かりません。この正しさは神の真理が判断を下す、高度な、圧倒的な出来事で、私たちの信仰がわずかに納得できる領域に属するのです。ヨハネ自身も わたしは水で洗礼を授けたが、その方は聖霊で洗礼をお授けになる」(マルコ福音書1：8) と言い、現実に後年パウロもエフェソで、ヨハネの洗礼しか受けていない、聖霊を受けてない弟子たちに会い、イエスの名による洗礼を授けたところ、その人たちが聖霊を受けたと記しています(言行録19：1〜3)。現在行われていきます水の洗礼は、ヨハネの水の洗礼とは違いますが、罪を悔い改めさせる、水の洗礼です。確かに聖霊による洗礼の準備を含んでいるに違いありませんが、この洗礼を受けた人々が、新しく生まれると言ふ決意にも拘らず、洗礼後直ちに聖霊を受けて目を見張るような新しい出来事は起こらない事が普通です。前にも書きましたように私が聖霊を受けて新しい生涯に入ったと感じたのは、洗礼を受けて7年後でした。バプテスマを受けましたが何も新しいことは起こらず、新しい人間も生まれ出ないという嘆きは、古くて新しい問題です。を渡辺信夫師も「マルコ福音書講解説教」の中に書いておられます。それにも拘らず、悔い改めのバプテスマに過ぎない 水のバプテスマ」の中に、イエス・キリストがこの時入られて、バプテスマの実質となられ、キリスト・イエスにあうバプテスマ(ローマ書6：3) となり、復活者キリストがバプテスマを受ける私たちのそばに立って下さっているのです、私たちがキリスト・イエスに向かって飛躍しようとしても、挫折には終わら

ないのです。勿論、イエスには少しづつしか近づけません。

聖霊を受けると、自分の力ではない力を受けるのです。私が聖職、信徒と共に働いた、  
《教役者遺児教育基金1億円募金、仰望》共同聖書研究の出版》、などに加わったこと、  
寿子が、病の人・苦しんでいる人 **SS**・捨児クラス》などに働いていることなどは、自  
分の働きではなく、上からの力によらなければ出来ない事と実感しています。

### ③、天が裂けて、聖霊が降ってくる イエスに

創世記に「初めに神の霊が水の面を覆っていた」と言う言葉があります。イエスが受洗された時、このヨルダン川でも水の上に御霊が降った。鳩のように降ってきた」のをイエス様が見られた、と書いてあります。鳩はどういう事を意味するのか、私たちにははっきりとは分かりません。ウオーター・ワンゲリンは「それはただのハトではなかった。それは創造の奔流をおおい、またノアの洪水の奔流を覆った聖霊そのものだった」と記載。まあ小説ですからね、どう書いてもよいわけです。しかし渡辺師も「ヨルダン川の水の上を飛び翔ける鳩はノアの大洪水の末期に、オリヴの木をくわえてくる事 創世記8:11」によって、新しい天と地を告げ知らせたように、今ヨルダン川のほとりで新天新地を知らせるのである」と書いておられ、バークレー師は「バプテスマのヨハネは裁きを予告したのに、神は柔和な姿の聖霊なる鳩をイエスに降らせ給うことによって、イエスは憐れみを、恵みを齎すのだと予告された」と言っています。ワンゲリンは小説の中で、ヨハネもその鳩のような聖霊を目撃したと書いていますが、それはイエスだけがご覧になったものです。ワンゲリンは、五旬節の聖霊降臨の場面で、《風のうなりはもはや音ではなかった。それは自分の魂の中を吹く嵐だった。アンデレははちきれんばかりに満たされた。そのため、口を開けてシモンと同じように熱狂的に語り始めたがその言葉は、シモンとは全く違って、いた 異言の事を言っているのです、或る時は外国語、或る時は全く不明の言葉と言われています。すべての弟子の頭の上には舌のような炎が乗っていた。・・・アンデレはトランペットになった。神の息によって体全体が歌を歌った 多分靈歌でしょう・・・外の階段に立っている人々は云った。彼らは酔っている。・・・」ちがう」ペテロは云った。ちがう。私たちは酔っているのではない。神ご自身の霊を注がれて語っている。ヨエルの云ったことだ・・・」  
使徒言行録2:1-4と。 聖霊降臨は信じる者すべてに起こることです。イエスのみ名によるバプテスマを信じる者において新しく実ることなのです。御霊は、この時イエスに降ったばかりではなく、その後もイエスの中にとどまり、イエスを通して働き、力ある業をされる、その一つが聖霊によって洗礼を施されることです。神の霊がとどまっている神の子としての働きの現れです。 イザヤ11:1-5, 42:1, 61:1など。地上の一人の人イエスに神の霊が下り、留まり、満ち溢れて、そのみ業をされる新しいときが来たのです。天は裂け、神の御心はイエス・キリストを通して私たちに通じる、新しい時代が始まったのです。天が裂けて」とは、断絶していた神様と私たちの中に、新しい道が通じたことです。イエス・キリストをさきがけとして、神の声が人間に直接聞えるのです。あなたはわたしの子、わたしの心に適うもの」と。神の声が聞こえるとは、耳に聞える事ではなく、聖霊によって御心が通じることです。神様の憐れみが、平和が、和解が、愛が私たちの願望となる事です。

④、あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適うもの」

バプテスマの時、イエスに降ったこの言葉は、預言の成就として神から下されたのである。私たちを救おうとして二千年続いた神の準備の完成として、イエスに与えられた、その預言は 見よ、わたしが選んだ僕 ヌモベ、わが魂が喜ぶわが愛する者。わたしはわが魂を彼に与える。彼はもろもろの国びとに道を示す」イザヤ42:1です。これは 主の僕の出現」を預言した第二イザヤの預言で、数箇所及ぶ 主の僕」預言の最初のもの冒頭の二節です。イスラエルでは最初の一句で全体を代表させる習慣であった 主イエスの エリ エリ レマ サバクタニ もそうです。事を考えると、イエスは洗礼に際して受けたみ言葉によって、ご自身が 主の僕」預言の全体を成就する者として召されていると自覚されたと考えられます。イエスは御霊を受けることによって 主の僕」として召されたのです。預言者の生涯はその召命体験によって決定されるからです。ここで、冒頭の句 見よ、わが僕 ヌモベ」が、あなたこそわたしの子である」となっている事が注目される。見よ」が あなたは・・・である」となっているのは、あなたイエスへの直接の話しかけだからですが、僕」が 予」と言う意味になって、イエス様が受け取っておられるのは、主の僕」としての召命を受けられたイエスが、その召命の言葉の中に わが子よ」との呼びかけを聞いておられる事で、非常に重要です。このように 予にして僕」僕にして同時に子」という二重性が、イエスの人格と生涯を理解する鍵になる。父と一つである子として、唯独り父を知るものとして、イエスは父を世に示す事を自分の使命とされた。同時に、主の僕」の姿、特にイザヤ書53章に語られている世の罪を負って苦難を受ける僕の姿を自分の進むべき道として受け取られたのです。イエスがバプテスマの時に体験された事 啓命体験」が、イエスの人格、働き、生涯を理解する鍵です。イエスの活動全体はここから発するのです。市川喜一師 マルコ福音書講解一章 聖霊降臨、御言体験」より引用。

さて私たちも聖霊を受ける事が大切なのですが、私たちは根源的な罪に汚れていますから、イエスのように父なる神様から直接聖霊を受ける事は出来ません。イエスと共に十字架に死に、復活されたイエス・キリストに合わせられて罪を贖われ、キリストを通して、聖霊を恵みの賜物として受けるのです。それは、神の子となることを許されることです。だから、イエスは私たち、信じて神の子とされる者たちの長兄と呼ばれるのです。ロマ8:29。イエスが御霊によって あなたはわたしの子、わが愛する者である」とみ言葉を聴かれたように、私たちも注がれる聖霊によって神の愛を実感し(ロマ5:5)、神の子とされていることを知り、アッバ、父よ」と祈り始めるのです。

私たちはイエスの思想や教訓を学んで、それを自分の力で実行しようとするのではなく、聖霊によって生きる生き方を、イエスの心を自分の心に頂けるように学ぶ者です。イエスは完全に神の霊によって生き抜かれたが、私たちは生まれながらの人間本性に引きずられて、御霊に従う事に失敗する事が多い。しかし、生涯イエスに従う事によって、人生の色々な局面で御霊に従う事を教えられ、鍛えられて、イエスの姿までに至りたいと思う者です。

福音書によってイエスの生涯を学ぶ意義の一つはこの点にあります 市川喜一師)。

市川喜一師の言葉です。マルコ福音書講解一章 畏兄としてのイエス」の部)参照。私の聖霊体験もそうでしたし、目標もその通りですので、私の考えとして記載させていただきました)

私は今まで、この「マルコ福音書」のお話をしてきました。そして始めにご紹介しましたような、諸先生方のご著書によっていることを明らかにしましたが、著書すべてを写しているわけではなく、所謂、要約ですので、文章全体をお読みななれば、更に靈的な賜物を豊かにお受けになるに違いないと存じ、殊にわたくしが大きな感動を持たされた、市川喜一師著「マルコ福音書講解」を次にご紹介申し上げます。

市川喜一著「マルコによる福音書」I・II巻、定価 各2500円 送料200円  
、天旅出版社 電話 075) 341) 6288

600) 8071 京都市下京区俵屋町206) 3 創和会館内 市川喜一師宛  
振替口座 01060) 5) 448

市川喜一師名、または、天旅名で。ひくと、パソコンのホーム・ページに、同師のすべてのご著書が閲覧できます。新約聖書全部の講解と、「福音の史的展開」です。